

患者さん・ご家族へ

後方視的研究へのご協力をお願い

岐阜大学腫瘍外科では、過去に下記のような診療を受けていただいた患者さんのデータを用いた後方視的観察研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究課題名: 大腸癌肝転移術後補助化学療法におけるオキサリプラチン、イリノテカンの必要性に関する研究

研究目的: 大腸癌肝転移の術後補助化学療法の必要性、最適レジメン、治療期間などについては確立したものはなく、大腸癌化学療法を中心となるオキサリプラチン、イリノテカンの2つの薬剤が術後補助化学療法で必要かどうかについて明らかにすることが目的である。

研究概要: これまでに施行した当科の大腸癌肝転移手術患者で術後補助化学療法を行った方を調査し、オキサリプラチン、イリノテカンの有無が再発や生存期間に及ぼす影響を調査する。

研究に用いる資料・情報の種類:

- ① 年齢、性別、BMI、ASA、生活歴(アルコール飲酒歴、喫煙歴)、既往歴、併存疾患、原疾患の情報
- ② 大腸癌手術時の診断、病期、病理組織学的所見
- ③ 肝転移の個数、最大径
- ④ 肝切除術前後の化学療法の有無、治療レジメン
- ⑤ 手術関連因子 (手術時間、出血量、術後合併症、術後在院日数)
- ⑥ 再発の有無、無再発生存期間、生存率、生存期間

調査内容:

治療成績 (再発率、再発形式、無再発生存期間、生存率、全生存期間)

対象となる患者: 2006年1月～2015年12月に当科で大腸癌肝転移手術をされた方のうち、術後補助化学療法が行われた方。

公示期間: 2017年11月1日～2018年12月31日

研究への参加辞退をご希望の場合:

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを使用させていただきます。患者さん個人のお名前や個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への協力を中止される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は患者さんの自由意思であり、協力の中止を希望されても患者さんが不利な扱いを受けることは一切ありません。協力を中止される方は、上記の公示期間内に下記の担当医師へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。いつでも相談窓口(担当医師)にご相談下さい。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者および岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

岐阜大学医学部腫瘍外科 臨床講師 今井 寿
連絡先: TEL:058-230-6233、 FAX:058-230-1074